

平成27年 3月23日  
国土交通省 仙台河川国道事務所

# 一般国道45号【三陸沿岸道路】

ものう とよま  
桃生登米道路 整備効果

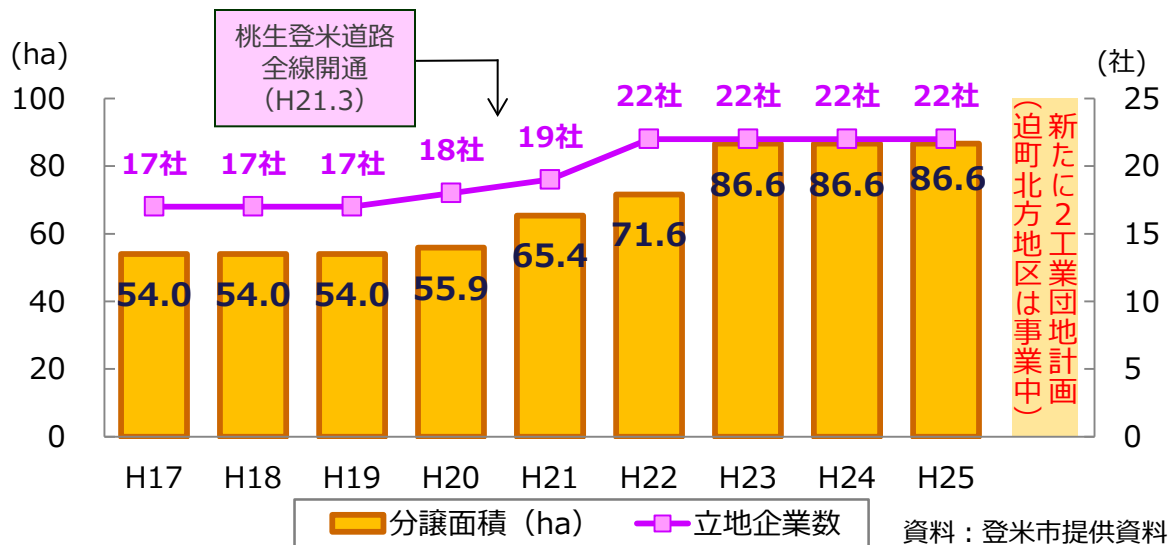
## 【事業経緯】

- ・平成5年度 事業着手
- ・平成19年度 桃生豊里IC～桃生津山IC間開通
- ・平成20年度 桃生津山IC～登米IC間開通  
〔全線2車線開通〕

# 登米市内の企業立地促進など、地域の産業・経済の活性化に寄与

- ◆ 桃生登米道路の開通等により、登米市内への企業進出が加速。
- ◆ 登米市内において、新たな工業団地を2箇所(日野渡地区、迫町北方地区)で事業化。
- ◆ 日野渡地区工業団地(H27事業開始)は、桃生登米道路からの利便性を考慮し、登米IC付近を選定。

## ▼ 登米市内工業団地における分譲面積、立地企業数の推移



## ▼ 桃生登米道路周辺の工業団地立地状況



### ■ 登米市新産業対策室の声

- 桃生登米道路の開通により、登米市から石巻や仙台方面へのアクセス性が向上し企業の進出や誘致がしやすくなった。
- 市内11工業団地では、平成23年度から分譲率が100%であり、新たに工業団地を整備する計画。
- 桃生登米道路の登米IC近くの日野渡地区工業団地は、利便性を重視して、選定した。
- 石巻と三陸沿岸の中間地点という地の利を活かし内陸で水産加工という新たな展開に期待をしている。

資料：H25.11登米市新産業対策室ヒアリング

### ■ 周辺企業（製造業）の声

- 桃生登米道路の開通により、搬送にかかる移動時間が短縮したことで、競合企業に対して距離による劣位性を解消することができ、石巻市まで営業範囲の拡大に繋がった。

資料：H25.12桃生登米道路周辺企業ヒアリング

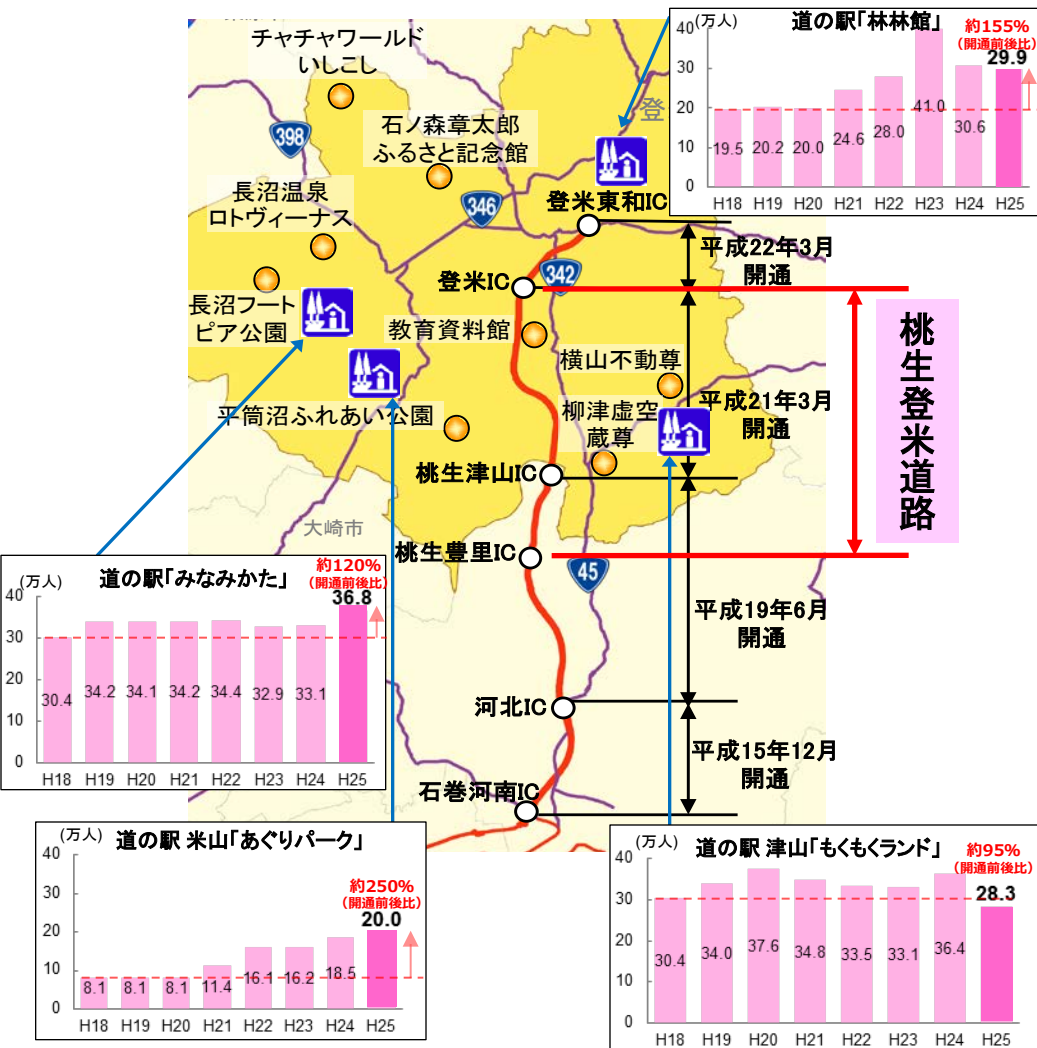


▲ 隣接地に新設工業団地が計画されている登米IC

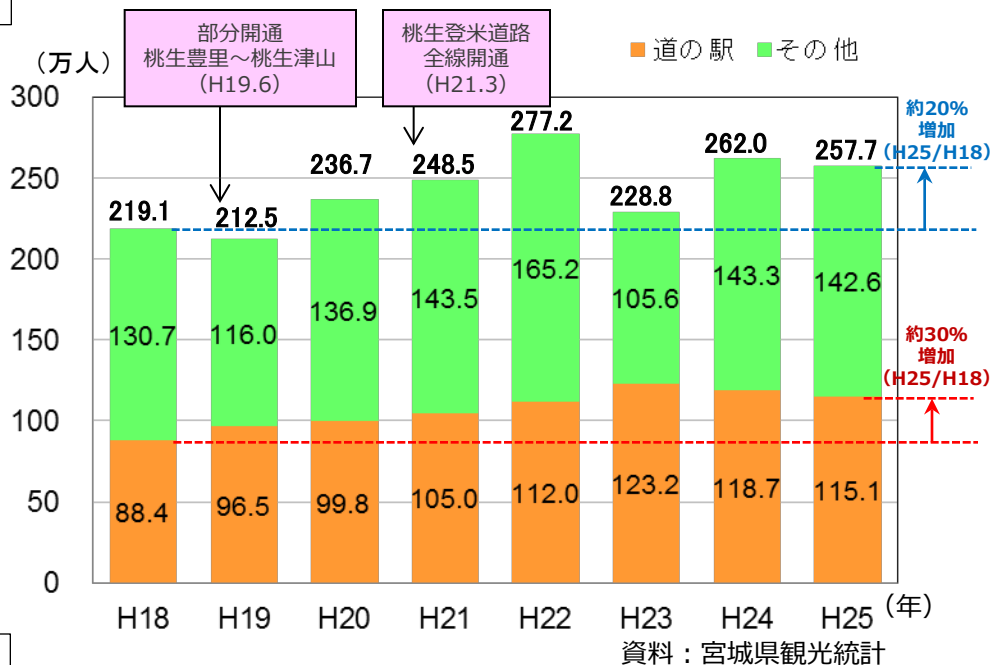
# 登米市全体の観光客数が約2割増加するなど、観光振興による活性化に寄与

- ◆ 桃生登米道路の全線開通以降、登米市内の道の駅(4箇所)の観光入込客数は年間100万人以上を確保。
- ◆ 登米市全体の観光入込客数も約20%増加しており、観光振興による地域活性化に寄与。

## ▼ 登米市の主要な観光施設及び道の駅入込客数



## ▼ 登米市における観光入込客数の推移



### ■ 道の駅米山 あぐりパーク 駅長の声

○ 桃生登米道路の開通により、登米市への観光客の増加を実感している。企業努力の実施も含めてではあるが、全線開通前 (H20) に比相当施設への入込客数は、順調に増加しており、H24は18万5千人と10万人以上増加している。

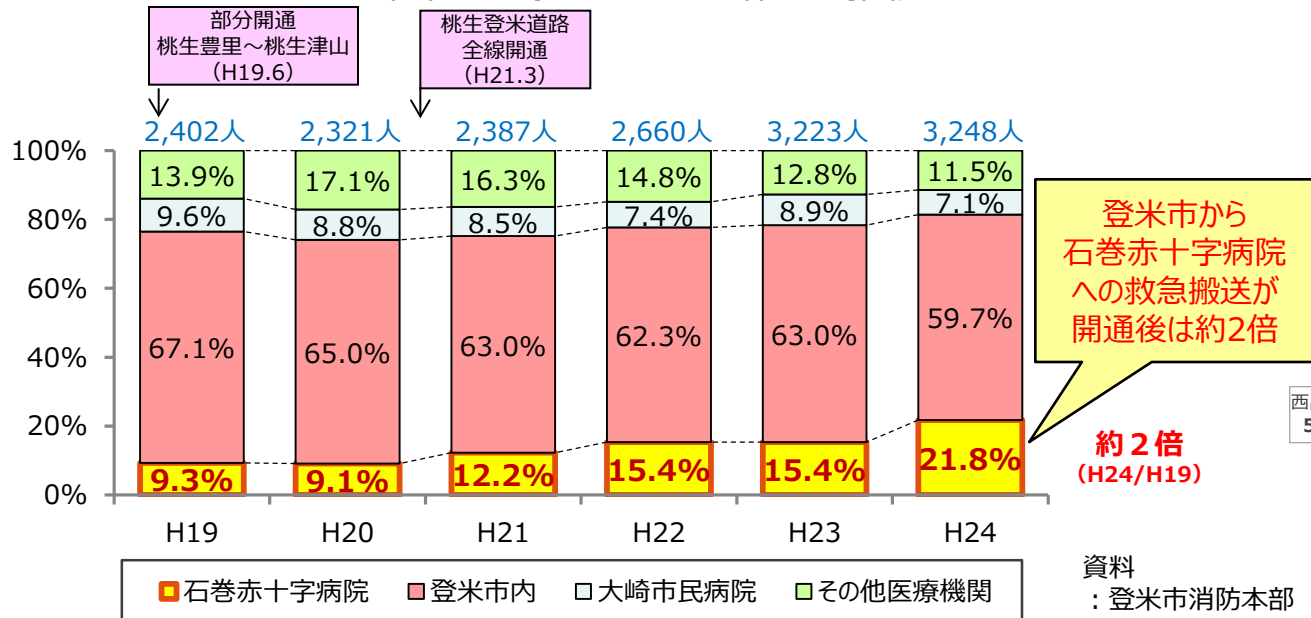
資料：H25.12道の駅ヒアリング

# 迅速・安定的な救急搬送が可能となるなど、救命率向上等に寄与

◆登米市からの救急搬送は、三陸沿岸道路を利用し救急車退出路を活用することで、搬送時間が短縮。

◆桃生登米道路の開通以降、登米市から石巻赤十字病院への救急搬送割合は、開通前から約2倍に増加。

## ▼ 登米市の医療機関別搬送割合の推移



## ▼ 登米市消防署各拠点から石巻赤十字病院への救急搬送件数（平成24年度）



### ■ 消防本部の声

- 桃生登米道路の整備、救急車退出路の整備により登米市から石巻赤十字病院への搬送時間が5～10分ほど短縮した。
- 桃生登米道路は、一般道より路面が安定しており、走行性が高いため、搬送患者に与える負担、運転手の心理的負担が軽減された。

資料：H25.11登米市消防本部ヒアリング



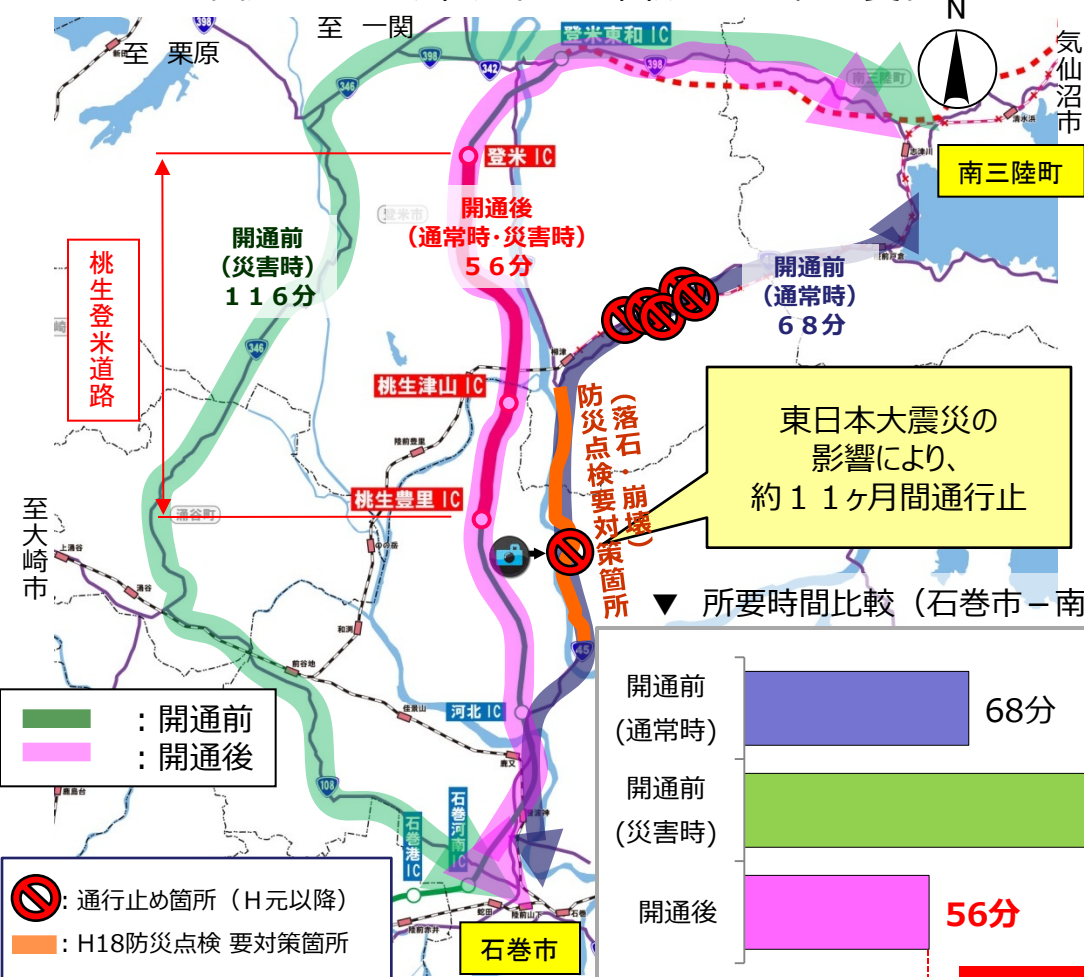
▲石巻赤十字病院に直結する救急車退出路

資料：登米市消防本部

# 緊急輸送道路としての信頼性向上に寄与

- ◆ 国道45号は、台風等での通行止めや東日本大震災時での通行止め(約11ヶ月間)等、通行規制が多い路線。
- ◆ 桃生登米道路の開通により、国道45号通行止め時(災害時)における石巻市と南三陸町の所要時間が60分短縮され、緊急輸送道路としての信頼性向上に寄与。

## ▼ 国道45号の既往通行止め箇所と迂回経路変化



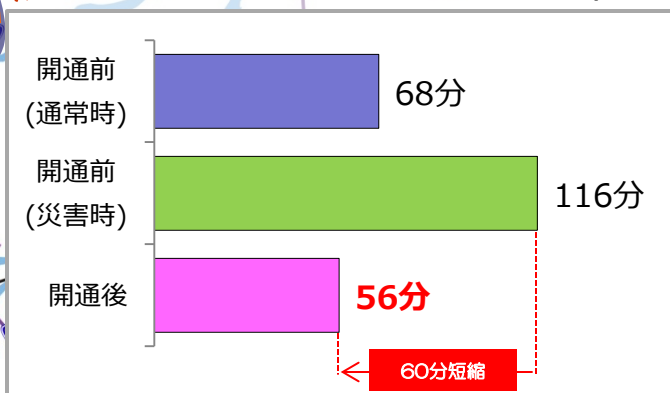
## ▼ 国道45号現道の通行規制履歴 (平成元年以降)

発生年月日	気象状況	通行止時間
H 2.11. 4	路面冠水	4時間20分 (11/4~11/5)
H 3. 9. 9	台風18号	7時間30分 (9/19)
H14. 7.11	台風6号	1時間25分 (7/11)
H21.10. 8	低気圧	16時間15分 (10/8~10/9)
<b>H23.3.11</b>	<b>東日本大震災</b>	<b>11ヶ月57時間 (3/11~2/3)</b>
H23. 9.21	台風15号	15時間 (9/21~9/22)

## ▼ 震災による斜面崩壊で通行止めとなった国道45号 (平成23年12月-石巻市成田地区)



## ▼ 所要時間比較 (石巻市-南三陸町)



資料：H17・22道路交通センサス

# 東日本大震災時には緊急物資輸送道路として機能

- ◆東日本大震災時、桃生登米道路を含めた三陸沿岸道路は緊急物資輸送道路として機能。
- ◆震災後、桃生登米道路は復興道路として復興事業等による交通量増加に対応。



通行規制が解除され、三陸道に乗り入れる一般車両(奥)＝30日午前9時ごろ、登米市の登米東和IC入り口

東日本大震災の影響で一般車両が通行止めとなっていた三陸自動車道の鳴瀬奥松島インターチェンジ(IC)―登米東和IC間45.3キロで30日規制が解除された。甚大な被害を受けた石巻市、宮城県南三陸町など沿岸部へのアクセスが大幅に改善し、被災地への救援物資の輸送が加速する。規制は午前6時に解除された。緊急車両に交じって一般車両も乗り入れたが、ガソリン不足を反映してか、一部で渋滞が見

## 三陸道全線で規制解除 救援物資輸送加速へ

三陸道の全面復旧で宮城県内の高速道は、震災に伴う交通規制が全て解除された。

南三陸町の避難所に身を寄せる無職の(仮)は、登米東和ICから石巻市に向けて三陸道を利用。「妻や娘の家族と明後日に県南に転居するので、病院の紹介状をもらう必要がある」と話した。

三陸道の全面復旧で宮城県内の高速道は、震災に伴う交通規制が全て解除された。

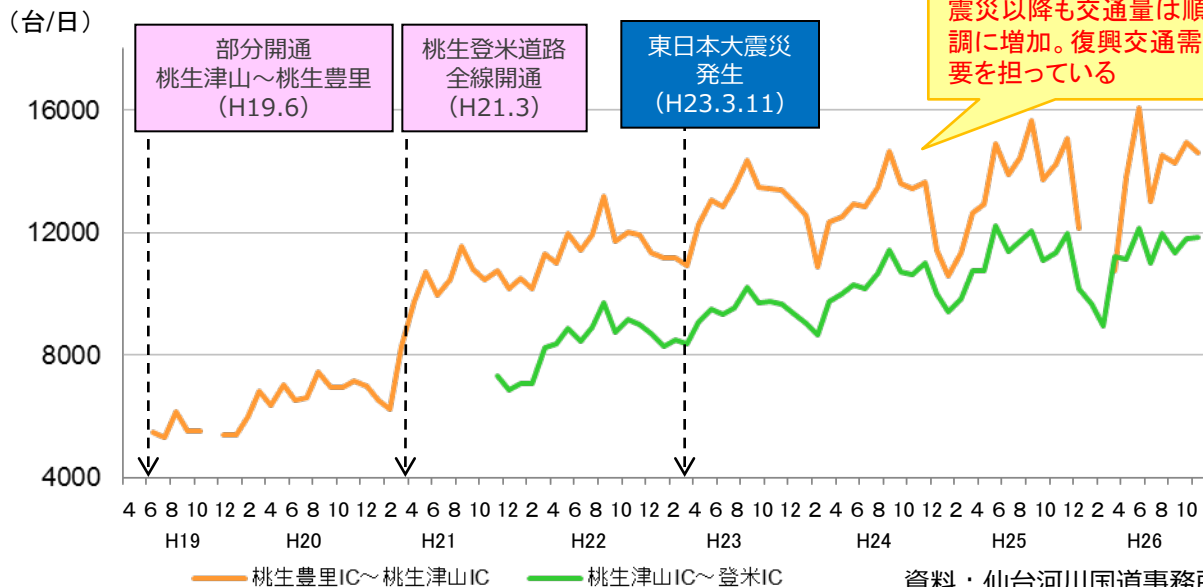
資料：河北新報 (H23.3.31)

### ■ 桃生登米道路沿線住民の声

- 支援物資が早く来たので助かった。
- 三陸沿岸道路(桃生登米道路)がなく、国道45号だけでは復旧や復興はまだ進まなかったと感じている。
- 被災地の物流を支える大動脈となり、助かった。非常に感謝している。

資料：H25.11住民WEBアンケート

### ▼ 桃生登米道路における交通量の推移



資料：震災伝承館  
▲震災後の国道45号の状況 (南三陸町戸倉)



資料：仙台河川国道事務所「東日本大震災活動記録」  
▲三陸道を通行する緊急車両の様子 (登米市豊里町)

# 事業の目的と概要

## ○事業目的

- ・ 桃生登米道路は三陸沿岸道路の一部を形成
- ・ 宮城県北沿岸地域の交流・連携の促進
- ・ 緊急輸送道路の信頼性の向上

## ○計画概要

起終点 : 自 : 宮城県石巻市桃生町太田  
 至 : 宮城県登米市中田町浅水

延長 : 13.8 km

幅員 : (暫定) 12.0 m  
 (完成) 23.5 m

道路規格 : 第1種第2級

設計速度 : 100 km/h

事業化 : 平成 5 年度

用地着手 : 平成 12 年度

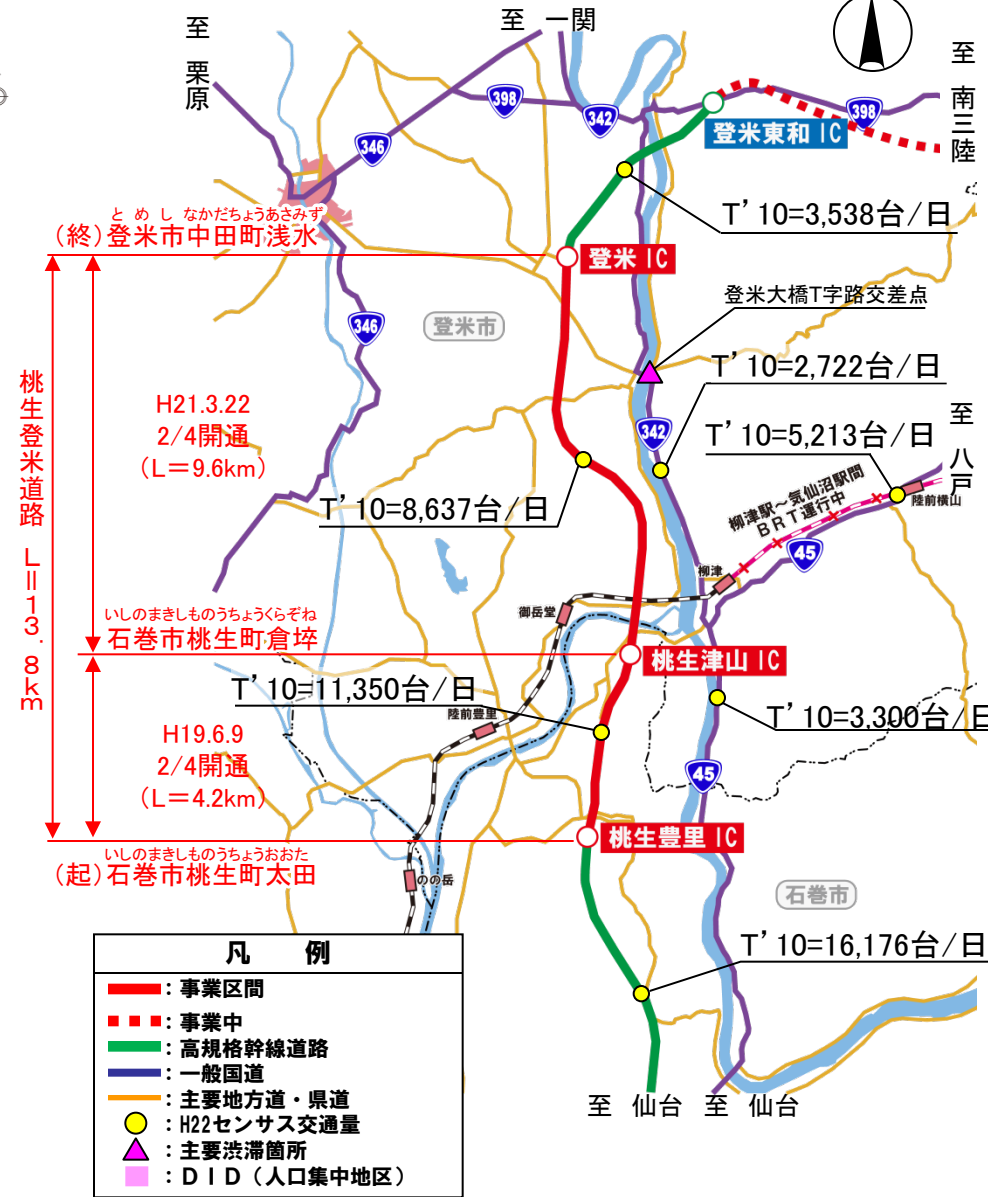
工事着手 : 平成 14 年度

全線開通年度 : 平成 20 年度 (平成 21 年 3 月)

位置図



平面図



標準横断面図

